

こどもと地図 3年

地図 with ご当地給食

砂丘らっきょうのピリ辛そば

日本有数のらっきょうの産地は、鳥取砂丘の東側部分に位置する旧福部村(平成16年に鳥取市に編入)です。地図帳p.23~24では、砂丘の東側あたりにらっきょうが描かれています。

らっきょうとその花
(写真: (右) 奥村一成)



(上)らっきょう畑での畝起こし作業
(右上)給食を味わう児童たち
(右下)砂丘らっきょうのピリ辛そば



地図帳p.23~24

2025年12月19日、鳥取砂丘のらっきょう畑が望める鳥取市立福部未来学園の給食を取材しました。この日のメインディッシュは「砂丘らっきょうのピリ辛そば」。栄養士さんの「らっきょうが苦手な子どもにも地元の名産品を食べてほしい」という思いから、中華そばをヒントに開発されたメニューです。らっきょうをタマネギ・ニンジン・豚ひき肉などと一緒に炒めたそばは、しょうゆベースでちょっぴりピリ辛。ご飯が進む味付けで、みんなもりもり食べていました。子どもたちに「らっきょうは好きですか?」と聞くと、ほぼ全員が手を上げてくれました。家庭でも、らっきょう漬け以外に「らっきょうのシチュー」、「らっきょう

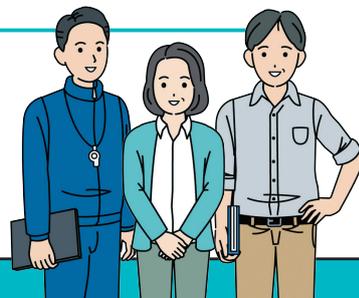
おにぎり」、「らっきょうサンドイッチ」など、さまざまな料理にして食べているとのこと、らっきょうが身近な食材であることがわかります。

海岸沿いの砂丘地帯に広がるらっきょう畑では、この日も農家の方が作業していました。夏の暑い時期に植えたらっきょうは、冬を越して翌年6月ごろに収穫するとのこと。植え付けには、6年生と幼稚園児が参加します。農家の方は、収穫にやってくる7年生(中学生)の姿を楽しみにしており、「福部の未来を担う子どもたちが、地域の食材を大切に守ってくれることを願っています」と、お話ししてくれたのが印象的でした。

取材協力: 鳥取市立国府学校給食センター 所長 奥村一成さん、鳥取市立福部未来学園
※給食のレシピを帝国書院Webサイトに掲載しています。

3年担当の先生で
ご回覧ください。

Blank space for the 3rd grade teacher's name.



3年生は地図帳と初めて接する学年です。地図帳の中のイラストを活用することで、興味関心を持って地図帳に向かうことができます。

行きたい場所、食べたいものを探そう

●静岡大学教育学部附属浜松小学校 教諭 小川 怜志

✓ p.25~26にあるイラストの例

問い

地図帳
p.25~26の中で、
どこに行ってみたいかな？
何を食べてみたいかな？
イラストで
探してみよう。

食べ物



牛タン



ぎょうざ



ほうとう



たこ焼き



もも



ぶどう

観光地



草津温泉



東京ディズニーランド



スキー場



富士山



佐渡金銀山



鹿苑寺(金閣寺)

1

自分の住んでいるところを探してみよう

3年生になると、子どもたちは旅行や天気予報など身の回りでいろいろな地図に触れます。まずは、地図帳で自分の住んでいる地域が掲載されているページを開かせるとよいでしょう。さくいんの使い方などを指導する前であっても、ページの中で自分の都道府県がどこにあるかを見つけるのは、さほど難しいことはありません。「私たちの住む県はどこかな、指でさしてごらん」、そして、「近くにどんなイラストを見つけられるかな」と、自分たちの住んでいる地域にどのようなイラストがあるかを見るように促します。子どもたちは「みかんやオートバイがある」など3年生の「市区町村の様子」の学習に結びつくものを見つけることでしょ

✓ 静岡県にあるイラスト



地図帳p.25~26

2

地図から行ってみたい場所、食べたいものを探す活動へ広げる

自分が住んでいる都道府県を見つけ、イラストに興味を持った子どもたちは、見開きの地図にある他のイラストに興味に移ります。そこで、「どこに行ってみよう?」「食べたいものはあった?」と発問すると、自然と挙手やつぶやきが始まります。

「メロンが食べたいな」「スキーをやってみよう」「ぼくは、かにが好き」「恐竜博物館に行ってみよう」など、行きたい場所や食べたいものからそれぞれの好みや伝わり、子どもたち自身の興味関心から話も盛り上がります。そこで自分の経験や興味を友達に伝える時間を作ります。学年が変わったばかりで新しい友達とも交流する良い機会です。学級づくりの一環として、話し方・聞き方の指導をするのもよいでしょう。

☑ 恐竜博物館とかにのイラスト(福井県)



地図帳p.25

3

子どもの興味を広げて、地図の学習につなげよう

次に、港、空港、高速道路、鉄道に注目してみます。行きたい場所、食べたいもののイラストまでどうやって行くか、考える活動ができます。「鉄道で行こう!」「自動車の方が早く着くんじゃない?」と考えを巡らせながら、地図上を指でなぞることで視野が広がり、面白い活動になります。他の地域にも同じようなイラストを見つけることができるでしょう。例えば「静岡から高速道路で大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンまで行こう」と、指でなぞっていきます。すると「自動車のイラストが愛知や滋賀、三重にもあるね」「名古屋城や彦根城を見つけたよ」「たこ焼き食べたいな!」「食べたことある」と別の地域の産業や文化に関心を広げることができます。

最後に、自分の住むまちに戻り、イラストを確認することで、市の様子や学習に入っていくことができます。

☑ 静岡県から大阪府までの地図



地図帳p.25～26

本記事はアプリ「帝国書院」に掲載した内容に加筆したものです。

アプリ「帝国書院」*では他にもたくさんの地図帳活用例を紹介しています!

*あらかじめ「帝国書院」Webサイトに会員登録が必要です。



帝国書院

アプリ
ダウンロードは
こちらから

App Store



Google Play



今日から使える!

デジタルコンテンツ

QRコンテンツ

「地図のやくそくごと」を 動画やクイズで楽しく学ぼう

3年生のはじめ「身近な地域や市区町村の様子」の単元では、学校のまわりの地図や市区町村の地図を使います。そのとき地図をどう見たらよいか戸惑う児童もいるかもしれません。地図帳p.7~16では、地図を見るときにおさえておきたい、地図のなりたち・方位・地図記号・色についてまとめています。

見開きのタイトル横にあるQRコードからアクセスできるQRコンテンツ「地図のやくそくごと」では、

アニメーションやクイズ形式を取り入れて、抽象的でつまづきやすい概念を、児童が直感的に理解できるように工夫しています。例えば「地図ってなんだろう」では、ドローン映像を使って、地図のなりたちをわかりやすく説明しています。「地図記号」では、クイズ形式で楽しく地図記号に親しむことができます。

地図の
やくそくごとは
こちら



QRコードはこちらにあります

「地図のやくそくごと」から「地図ってなんだろう」を選択

校庭から校舎を見ているところからだんだん視点が上がり…

学校が真上から見えます

もっと高く上がると広い範囲が見わたせます

地図は土地のようすを真上から見たものです

わくわく授業づくり! こどもと地図 3年 2026年度前期号

2026年3月13日発行 (No.74) ©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2026

発行所 東京都千代田区
神田神保町3-29 (〒101-0051)
株式会社帝国書院

発行人 守屋 智央
電話 03-3262-4795(代)
https://www.teikokushoin.co.jp/

「わくわく授業づくり! こどもと地図」は
Webサイトからも読むことができます。



こどもと地図についてのご意見・ご感想はこちらまで



本誌で掲載している地図帳は、令和5年検定済「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

(QRコード使用上の注意) QRコードを読み取って表示されたサイトにアクセスした際には、別途通信料がかかる場合があります。

(本誌掲載の他社商標について)

・QRコードは、株式会社デンソーウェブの商標または登録商標です。・その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

教授用資料